



### 「ご挨拶」

滝川市ボランティア連絡協議会

会長 岸部 三和子

今季の冬は半世紀ぶりの積雪の少なさで、日毎にのどかになり、春の装いを感じる季節となりました。元号が平成から令和に代わり早9か月が経過しました。そのような中、新型コロナウイルスの感染が世界中に拡散し、日本中を恐怖に陥れています。

感染拡大防止の観点から様々な行事が中止又は延期になっています。

滝川市ボランティア連絡協議会も第3回ボランティアスクールが苦渋の決断で中止させていただきました。スクールとしては2回の開催に留まった所でありませう。

今年度の事業を振り返りますと、ボランティアスクールでは旭川赤十字病院から講師をお招きし、心肺蘇生とAEDを用いた除細動を学び、また北海道盲導犬協会による盲導犬の理解について学習いたしました。

視察事業として、沼田町就業支援センターと同町の暮らしの安心センターを訪問し、特に就業支援センターでは、保護観察中の入所者に対し、農業実習を受けさせ改善更生の促進を図る取り組みを見学させていただきました。

結びにあたり、ボランティア活動を通して、よりよい地域社会をつくるため、活動の4原則、自ら進んで行動する「自主性・主体性」、共に支え合い学び合う「社会性」、見返りを求めない「無償性」、よりよい社会をつくる「創造性・先駆性」を理念として、今後とも永く、団体相互の連絡調整と連携を図りボランティア活動を広げ地域福祉の推進に努めてまいります。



### 「永久のボランティア活動を」

社会福祉法人 滝川市社会福祉協議会

会長 高谷 富士雄

一人の不幸をも見逃さないより良いまちづくりに、滝川市ボランティア連絡協議会の皆様が日夜を問わず活動されておられますことに深く感謝申し上げます。三十数年前より、地域のボランティア活動が注目され活発化し、その重要性が見直されています。高齢者、子ども、身体に障害のある人々との「心のふれあい」を通じてのボランティアは、一人ひとりが行う小さな活動であっても、家庭、子ども、職場そして地域へと徐々に大きな輪となって広がり、福祉サービスを受ける利用者が差別なく、地域社会と密着した中で活動することへと結びつくのであります。

16 団体で構成され、課題共有と地域福祉の推進を目的とした滝川市ボランティア連絡協議会におかれましては、「ボランティアスクール」をはじめ「市民ボランティアの集い」、さらには、「滝川市歳末たすけあい赤い羽根歌謡大会」などへのご支援をいただき、改めて感謝する次第です。

少子高齢化で地域人口が減少していますが、当協議会では、ボランティアセンターを中心に、滝川市ボランティア連絡協議会はじめ、各種団体との連携を蜜に活動の活発化に向け、一層の努力をしてまいりますので、ご協力のほどよろしくお願ひいたします。

安心と安全なまちづくりの実現のために、滝川市ボランティア連絡協議会の更なるご活躍を祈念し、ご挨拶いたします。

## 令和元年度 事業報告

12・1	11・5	10・29	9・28	8・3	7・24	7・12	4・25
第32回滝川市歳末たすけあい赤い羽根歌謡大会に出演・支援	第2回ボランティアスクール「盲導犬をもっと知ろう」を開催	令和元年度視察研修を実施	ふれあいの集い2019に協力	第22回ふれあいパークゴルフ大会に協力	第1回ボランティアスクール「日本赤十字社滝川市地区赤十字救急法短期講習会」を開催	令和元年度第19回ふれあいサマーレクに協力	滝川市ボランティア連絡協議会総会を開催